

# ふれあい

平成22年 1月 第286号

大代地区コミュニティ推進協議会  
〈広報部〉  
事務局：大代地区公民館  
☎364-8442

## 〈掲載目次〉

- 新年を迎えて・・・・・・・・・・ 1
- 生きているから食べる・・・・・・・・ 1
- 生きる力を育む写真療法・・・・・・・・ 2
- 甦るシベリアの思い出・・・・・・・・ 3

- 多賀城市から  
大代地区のみなさんへ・・・・・・・・ 3
- 大代の歩み(二十二)・・・・・・・・ 4
- ふれあい短歌(新年特集)・・・・・・・・ 4
- ふれあい俳句・・・・・・・・ 4

## 新年を迎えて

大代地区コミュニティ

推進協議会会長 熱海 五郎

新年明けましておめでとうござい  
ます。

平成二十一年は就職難など世の中は厳  
しさが目立つ一年でした。

大代地区コミュニティ推進協議会の年  
間行事については環境美化部の春秋の貞  
山運河付近の清掃延べ百二十名参加、体  
育部ではグラウンドゴルフ・ポウリング  
各大会を開催し多くの方の参加をいた  
だき、大変感謝しております。

コミュニティ推進部では協議会主催の  
最大の行事であります「新年を祝う会」  
を一月九日(土)盛大に開催する予定で  
す。

平成二十二年も各地区及び各種団体の  
協力をお願いしまして協議会の運営をし  
ていきたいと思っておりますので今年も  
よろしくお願いします。

### 〈役員〉

コミュニティ推進協議会役員一同

会長	熱海 五郎
副会長	渡辺 正平
副会長	白浜 宣子
広報部長	佐藤 聡子
環境美化部長	佐藤 洋子
環境美化副部長	荒木 慶蔵
環境美化副部長	柴 静夫

体育部長 結城 一志

体育副部長 針生 吉治

コミュニティ推進部長 小野 菊郎

コミュニティ推進副部長 本郷 敏郎

監事 小野 精子

監事 佐藤 捷逸

### 〈顧問〉

議員 佐藤 恵子

議員 米澤 まき子

大代東区長 三浦 徳男

大代中区長 小野 菊郎

大代西区長 伊藤 要

大代北区長 加藤 渉

大代南区長 橋本 浩

### 〈事務局〉

局長 角田 三雄

局員 及川 清人

## 生きているから食べる

大代中区 小野 菊郎

面倒くさがらないでやるといふこと  
が、生きる力だよ。おつくうだからやら  
ないとなったら人間終わりだっちゃ。作  
れば安上がり、ひと月食費2万5千円、  
週一回5千円を目安に食材を買う。出来  
合いの惣菜や冷凍品は買わない。米ひと  
月5kg程食べる。調理は冷凍庫、冷蔵庫  
活用したまとめ調理、薬物は一度にゆで

小分け冷凍、野菜は一度に刻んでプラ容器にいれ、冷蔵庫へ2・3日で使い切る。煮物は多めに作りみそ味などに変化をつける。先が短いんだから料理にばかり時間をかけてはもつたない。食器を替えたり庭の花を飾ったり食卓を楽しくすることも忘れない。



**81歳になった男性の言葉です。大病をして食べることの大切さを実感された方のお話です。**

人間の身体は食べることにより維持されており。健康が一番と誰でも言いますが毎日の食えることをおろそかにしておりませんか。

男性も自ら食材を購入し調理して食べることを実践したいものです。

男の料理教室が今年は大代公民館主催、で2回、100年構想実践委員会主催、多賀城市食改主催それぞれ一回で計4回開催されており延べ60名程の参加者が

あります。

中区では数名ですが男の料理グループを結成し料理の種類を多くしたいと積極的に参加しております。腕前を披露したく21年度で開催する中区事業健康講座開催時（七月、十一月、二月、三月）参加者へ昼食を提供しております。男性で料理に挑戦したい方、ご連絡頂ければ幸甚に存じます。



### 生きる力を育む写真療法

大代中区 宮城 武雄

最近、写真療法やフォトセラピーという言葉が耳にしませんか？デジタルカメラの普及で可能になった芸術療法の一つですが、その概要を写真医療家協会の資料を参考にし、述べてみたいと思います。

【写真療法（フォトセラピー）とは？】

写真を通じて自由な自己表現や創造的な時間を楽しむことにより、健康の維持・増進や生活の質の向上につなげていく

写真活動のことです。

【写真は脳トレ？】

諏訪東京理科大学の篠原菊紀教授によると「写真を楽しむことは脳を活性化する」という。被写体を探し、構図を考えシャッターを押す行為や、写真をカラーにジユする、人との関わり、笑う、褒めるなどは脳の前頭葉を活性化する。ウォーキングなどに写真を取り入れると脳の血流が促進されてより効果的。

【写真療法の歴史的背景】

日本においては、1976年、医学博士の中山康裕先生が思春期の心身症に対する写真療法の効果を芸術医療学会誌で報告されている。その後、心身医学における写真療法の研究が何度か発表されてきたが、あまり大きな進展がなかった。しかし、2000年以降写真を手軽に楽しむことを可能にしたデジタルカメラの普及が写真療法を大きく前進させている。

【写真療法の特徴】

大きく二つの考え方がありますが、一つは、精神医学、臨床心理などの専門家が治療行為として利用する方法。もう一つは、写真による自己表現。自己発見の結果、もたらされる癒しの効果。ここで紹介したのは後者であり、写真を撮った後撮られたり加工して楽しむという「遊び」を通し、人間が本来持つ自己治癒力

を活性化するのが大きな目的です。このことがもたらす自己表現や達成感、さらに美意識の充足こそが生きていく力の源となる。

### 【最近の活用実績】

経済産業省所管の「民間活力開発機構の健康づくり大学」の滋賀県湖北町や岩手県西和賀町で芸術療法、高齢者、子育て支援などを、東京新宿オークタワーで、院内学習として宮城県立子ども病院、長野県立子ども病院等で、高齢者QOL向上を茨城県の健保施設等々です。

新しい年はあなたも写真を楽しみ、人生も元気に楽しみませんか？

## 甦るシベリアの思い出

大代南区 後藤 清一

平成二十一年八月二十一日、せつかれる様な思いで九度目の墓参りに出立する。私の希望墓参地は続けてのキャンセル。今回の訪問地は始めてだが、多くの墓地はまだまだ各所に散在しているのです。この地区は出発前から多くの期待するものがあつた。

八月二十三日、この日も滅法暑かつた。遙か遠く目にする稜線は悠然と構え誰にはばかり事なく雄大な姿を演出してくれる。時々見かける、白樺の巨木、白い樹皮が美しく色添えている。名も知らぬ野鳥は天高く勝手に飛び舞う。のどかな自然

だ。夢も希望もなく囚われの日々もこんな素晴らしい日もあつたのだろうか。

“年重ね物故者へ募る悲しみ”

六十数年前もこの現地にこの目、この足で大地を強く踏みしめ、あの当時に想いを辿れば多くの友と元気で帰ろうと語り誓つた。想いが空しく切なく頭をよぎりただ悔しくて泣けてしまう。生還者を始め、先輩諸氏が、俺達に残された時間はそう多くない”と言い続けてきた理由が理解できる気がする。今日はペロゴルスク周辺の墓参である。昨日と同じガタバスで原野の悪路をぶつ飛ばす。猛スピードで三百料ほど走り墓所に着く。例のごとく供物して儀式を済ませる。近隣集落の住民が見つめている。戦争を知らない幼年はともかく、年輩の人達の心境は!!礼拝を済ませ次の墓地へ。本日の予定行動を終えホテルに向かう。その時、遺族で同行のご婦人が突然慰霊碑に抱きつき口説き号泣され、しばし離れようとしめない。父さん、貴方は母さんとの最後の約束も守れず、母さんは師走七回忌を迎えます。一緒に帰って合葬してやりたい。父さん、私は長い年月関係省庁、生還者の方々を訪ね時間をかけ、ようやくここに辿り着きました。父さん遅くなつて本当にごめん。父さん、私も六十六才になりました。驚いたでしょう。姉さんも、貴方の孫も元気で幸せです。父さん

帰つて!!

口説きはつきない。俺達は少し離れ、ただ見つめるだけだった。「奥さん帰ろう、来年また来たら」と急かせ帰路につく。永い六十数年の歳月を今ここで物言わぬ父親との再会に全ての感情がこんな形で表現されたのであろう。遠く長いバスの移動で皆さん大分お疲れのようだ。まもなく期待できない夕食か、団長の差し入れでウオツカで乾杯。ロシヤ風の精

### 多賀城市から

#### 大代地区のみなさんへ

多賀城市では、国・県からの支援を受け、東豊中学校区（東豊中学校・多賀城東小学校）において、学校支援地域本部事業が始まります。

これは、学校の要望・相談により学校支援ボランティアを派遣するものです。

学校支援ボランティアは、地域に住むみなさんが登下校の見守りや学校花壇の整備、授業のお手伝いなど、ボランティアとして出来ることを学校支援地域本部へ登録していただき、学校とボランティアの派遣を調整する地域コーディネーターをおして、学校への活動支援をしていただきます。これによって、学校・家庭・地域が一体となり地域ぐるみで子どもを育てていくこととなります。

この事業は、中学校区単位での実施で

あるため、東豊中学校区である大代地区のみなさんへは、学校支援ボランティアの募集を行う予定です。

子どもたちのため、地域のため、みなさんのボランティアへの参加をお願いします。

問／生涯学習課社会教育係

368-1141

内線 541・542

## 大代の歩み（二十二）

大代南区 渡邊 巖

昭和期の開発構想（前号）続き

この第一期工事の際、中ノ島埋立埠頭と貞山運河とを結ぶ水路として、新しい運河（築港運河又は中ノ島運河という）が造られた。この運河は延長二四九八m、幅員一八〇二五mで、牛生で在来の貞山運河と結び、塩竈市築港の港橋で塩竈港に繋がったのである（昭和八年）。

既述のように明治以降も度々改修・浚渫が行われた貞山運河であるが、当時しばしば洪水・氾濫を繰り返した砂押川は、その名のとおり多量の砂泥を運河に押し出して水深を浅くした。その為、干潮時に運河を航行する大代丸・蒲生丸などの定期船や、荷物運送の小型船が底触し、乗組員が運河に入り船を押し辛うじて棧橋に到着する等航行に難渋することがあった。しかしその頃は『流れも清

き貞山河……』と歌われ、四ツ手網で白魚を獲り、鰻を搔き、ボラ・ウグイ・ハゼを釣り、三山参りの『代垢離』で禊ぎをし、夏ともなれば大代橋（現在の橋本橋）には河童達が群がり縦横に泳ぎ回り又、お盆には先祖の御霊と運河開鑿工事・運航に係わる犠牲者達の供養と冥福を祈る灯籠流しが行われ（戦後、花火の打上げも加えられ）た。しかしその清流でも、昭和の初期頃から時々『婆ハゼ』と呼んだ背骨の曲がった奇形のハゼが釣れるようになった。当時、既に大代に進出していた水産加工場の増加とその排水による運河の水質汚濁が進んでいたのである。

戦時中の貞山運河改修は、多賀城海軍工廠への輸送確保を狙った「荷役力増強工事」の名称で、昭和一八年四月から三ヶ年完工予定で牛生く大代間の水深と幅員増加を図ったが、用地買収を終えたのみで時局逼迫のため工事は中断、そのまま終戦と共に打切られてしまった。

終 次号別稿

## ふれあい短歌（新年特集）

大代西区 藤田 遊子

峡の子と我が名呼ばれて半世紀

今朝松島湾に初日を迎ふ

雪分けて 福寿草も 顔を出し

大和の国の 初春祝ふ

朝夕に 將軍憩ひし 国府の池に  
新年祝ひ 鶴さはに啼く  
平和なる 大和の国に 初日差し  
世界の何処に 核潜むらむ  
千載の一遇に生れし この地球  
新年祝い 宇宙を翔る

## ふれあい俳句

大代西区 松浦 富男

霜の朝 火をはく息で 入院す  
入院し 冬のベツトで 俎板の鯉  
つるべ 落し スルスルドボンと

暮れにけり

ぼつかりと 乳房にふるる ゆずの風呂  
ホンコンに 突撃したる 開戦日

笠神西区 本郷 勝子

オカリナの 響き渡りて 冬の海  
郡上の 星の山々 冬銀河

しみじみと 心にしみる 凍大根

ハタハタ届く ひいふうみいと 御裾分  
雪しんしん 深々と 深夜かな

八 幡 森 季子

明日ありと 言えぬと友や 秋深む  
牡蠣筏 雲間の日射し 渡らせて

コーヒーの 湯気の向うに すがれ庭  
くるぶしの 隠るるほどに 紅葉かな

木の間より 紅葉の錦 南禅寺